



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

厚生労働省補助事業

第2回

2021年度 後期 リカレント研修会

「データのまとめかた・発表のしかた—入門編—」

LIVE配信：2021年12月16日(木) 19:30~21:00

オンデマンド配信（録画視聴）：2021年12月20日(月)~2021年12月29日(水)



広島大学大学院医系科学研究科
口腔保健疫学研究室
教授 **内藤真理子 先生**

【ご略歴】

- 1991年 九州歯科大学卒業
- 1991年 産業医科大学歯科口腔外科 専修医
- 1996年 九州歯科大学小児歯科 助手
- 1997年 九州歯科大学小児歯科 研究生
- 2001年 京都大学大学院健康情報学 研究員
- 2004年 名古屋大学大学院予防医学 助手
- 2007年 名古屋大学大学院予防医学 講師
- 2010年 名古屋大学大学院予防医学 准教授
- 2018年 広島大学大学院口腔保健疫学 教授
- 2019年 広島大学歯学部口腔保健学専攻 専攻長
広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 副センター長

【編集委員としての活動】

日本疫学会、日本口腔衛生学会、日本老年歯科医学会など

講演内容

日常業務の気づきをエビデンスに変えたいと思ったことはありませんか。エビデンスとして世の中に情報を発信していくためには、さまざまなステップがあります。ひとつひとつのステップは、発信する情報の質に大きく影響します。

データを集め、分析し、発表するためには、基本となるお作法があります。お作法を学ぶための本はたくさん出版されていて、インターネットからも多くの情報が得られます。以前にくらべて、学術的な発表や報告をサポートする環境が整ってきているといえるでしょう。

今回の研修会では、人を対象とした調査データのまとめかたから学術的な発表のしかたまで、基本事項をわかりやすく説明します。いつかデータを集めてみたいと考えている方も大歓迎です。お作法を学びながら、科学的根拠を生み出すコツを見つけていただければと思います。

お申し込みは
こちらから



申し込みフォーム